

社会福祉法人容雅会 令和6年度事業報告

令和6年度は、基本理念に忠実に年齢や障害に関係なく「自分らしさ」を守りながら過ごすことのできる、第二の「居場所＝居心地のいい場所」となれる場の創出に重きをおいた運営をして参りました。

令和6年度は基本理念を守りながらもブランディング、他と区別できるものや法人独自の強みを作り、施設価値の創造に注力しました。ブランディングを行うことにより、認知度が上がり、様々なニーズを持つ利用者様に選ばれ、多くの利用者様の居場所になれることを目指しました。

年々重度化している当施設をご利用いただいている入居者様や利用者様が、この施設を楽しく安心して過ごすことの出来る自分の居場所であると感じていただけるように、感染対策を継続しながらも様々な行事を開催しました。

毎月1～2回のセブンイレブンさんの出店でのお買い物、梅シロップづくり、七夕、ビアガーデン、花火鑑賞、クリームソーダ、さんま焼き、芋煮会、芋掘り、ハロウィン、クリスマス、初日の出、豆まきなどの季節の行事やデイサービスでも毎月ホットプレートを利用したお菓子作りや季節のレクリエーション、ボランティアさんによるハンドマッサージやお抹茶と和菓子の提供など、職員の様々な趣向を凝らした演出で、皆様の記憶に残る楽しい思い出の一コマを作り出しました。

また鍼灸マッサージ師の雇用により、コンディショニングを目的としたマッサージをいつでも受けられる体制の整えたことも他施設との差別化を図ったことのひとつです。

令和6年度は前年度に創設したシニアアドバイザー部門が積極的に外部へ広報活動を行うことにより、近隣中学校への出前講座や福島県社会福祉協議会主催による親子施設見学会を当施設で催すことができ、これからの未来を担う子供たちへ福祉や介護の魅力を伝える事業を行うこともできました。

加えて外部へ向けて開催してきた事業の一つが「よろず相談ら・し・さ」というイオンモールいわき小名浜にて2ヶ月に一度定期開催をする地域住民向けの福祉と手話への啓発活動です。1年が経過している現在でもアンケート集計によるサニーポート小名浜の知名度は中村病院よりもはるかに低く落胆しておりますが、少しずつとはいえ来客数も増え、次回参加のお約束をして帰られる方も見られるようになりました。実施内容としても第1回目よりご協力企業様に福祉用具の展示・体験をしていただいております、当施設のケアマネジャーに相談をしながら福祉用具の体験をしてみるという流れができております。また毎回、血管年齢の測定や身体の糖化度測定など、興味を持っていただけるような測定機器を使用して集客に努め、施設の様々な職種の職員の協力のもと、施設全体の事業として今後も継続し

て行く予定となっております。

二つ目の事業としては令和6年6月から毎月1回開催している聴覚障害者向けサロン事業「サポカフェ小名浜33さんさん」です。この事業は聴覚に障害があってもその人らしさを大切に過ごしていただきたいという思いと、全国的にも少ない聴覚障害者（ろう者）も利用できる特別養護老人ホームを目標とし、シニアアドバイザー部門を中心に企画を進めて参りました。毎月少しずつ参加者も増え、ろう者本人、手話サークルの方などを中心に活動しております。

また、いわき市内のみならず福島県内の聴覚障害者に関わる各団体へのアピールや交渉を重ねた結果、福島県聴覚障害者協会、福島県手話サークル連絡協議会、手話通訳問題研究会、手話通訳士協会、いわき市聴覚障害者協会、福島県老人福祉施設協議会の方々に参画いただき、令和6年3月に「第1回（仮称）高齢聴覚障害者支援事業に関わる準備委員会」を発足し、会の名前を「さんさんプロジェクト準備委員会」として進めていくことといたしました。アドバイザーとして2006年に社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会 特別養護老人ホーム淡路ふくろうの郷の開設時事務長をされた八木勝光氏をお迎えし、今後の活動へのアドバイスをいただくことになっております。。

またサポカフェ小名浜33の参加がきっかけで1名、さんさんプロジェクト準備委員会での様子が掲載された記事を見たことがきっかけとなり1名、合計2名の方が趣旨に賛同し、自らも活動したいと当法人へ就職していただくこととなりました。ろう者ご本人がデイサービスやショートステイのご利用になることも少しずつ増え、職員の手話に対する意識や様々なツールを用いてコミュニケーションを積極的にとる姿勢も出てきており、職員の採用や資質の向上へも寄与しているところです。

人材確保の点では、令和6年度は前年度の外国人材（ミャンマー）6名の採用に続き、技能実習生を2名採用しました。日本人離職者も決して少なくはありませんが、外国人材の登用により、従来より勤務している職員にも自分たちがお手本となるような仕事をしなければいけないという気持ちが出てきていることに相乗効果を感じます。

様々な人材が入職してくることもあり、常に職員一人ひとりの資質の向上が求められるところです。ICT（インカムや見守り介護ロボット）の導入や認知症に対する加算算定への対応もあり、内部・外部研修を広く受けて参りましたが、個人個人に対してよりきめ細やかに研修を受けられる体制の構築が次年度へ向けての課題となっております。

入居者様、利用者様にとって障害の有無に関係なく自分らしさを失わず、居心地の良い生活ができる場所となれるよう、また、国籍の違いや障害の有無にかかわらず全ての職員にとっても働きがいのある心地よい場所となれるよう、令和6年度に進めてきたことを活かし、設立10年を迎える令和7年度を進めて参りたいと思います。

I 法人の運営体制

理事・監事体制

理事長	中村 雅英
理事	鈴木 智
理事	吉田 一巳
理事	小川 一夫
理事	長谷川祐一
理事	中村安佐子（常勤）
監事	山野邊元則
監事	木幡 仁一

評議員体制

評議員	赤津 隆彦
評議員	阿部 健一
評議員	門屋 博史
評議員	菊地 秀明
評議員	鈴木 重光
評議員	村田 裕之
評議員	箱崎 孝成

第三者委員会体制

委員	菊地 秀明
委員	山野邊元則

評議員専任解任委員会体制

委員	中村 秀樹
委員	山野邊元則
委員	木幡 仁一
委員	巽 龍也
委員	寺島 正

業務顧問

会計顧問	パートナーズ国際共同公認会計士事務所	渡部 修
労務顧問	あすか社会保険労務士法人	菊地 秀明

II 法人の事業

特別養護老人ホームサニーポート小名浜

1	特別養護老人ホーム事業	80床
2	短期入所生活介護事業	20床
3	通所介護事業	30名

- 4 居宅介護支援事業 180名
- 5 その他（施設内託児事業・企業主導型保育園受託事業）

Ⅲ 理事会・評議員会の開催

令和6年度における理事会を次のとおり開催致しました。

回	開催日	場 所	内 容
第1回	令和6年5月30日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、職員充足率、その他（外国人技能実習生採用状況）、令和5年度事業報告、令和5年度決算報告、令和5年度監事監査報告、評議員会の開催日時及び議案について、居宅介護支援事業所サニーポート小名浜内郷事業所運営規程の変更について
第2回	令和6年9月26日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、職員充足率、生産性向上に関する設備投資について、設備投資に伴う借入及びリースについて、令和6年度介護報酬改定における基準費用額（居住費）変更に伴う運営規程の変更について
第3回	令和6年12月9日 （提出日）	書面による理事会の決議	常陽銀行からの賞与金借入について
第4回	令和6年12月19日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、職員充足率、外国人介護職員採用報告、令和6年度補正予算について、生産性向上推進体制加算に係る設備投資（インカム、Wi-Fi）入札に基づく契約について、福島県聴覚障害者協会との準備委員会の設立について
第5回	令和7年3月13日	サニーポート 小名浜	事業活動実績報告、職員充足率、聴覚障害者利用促進に向けた取り組みについて、令和6年度二次補正予算について、令和7年度事業計画について、令和7年度予算について、日常生活費等の変更について

令和6年度における評議員会を次のとおり開催致しました。

開催日	場 所	内 容
令和6年6月20日	サニーポート小名浜	事業活動実績報告、職員充足率、その他（外国人技能実習生採用状況）、令和5年度事業報告、令和5

		年度決算報告、令和5年度監事監査報告、居宅介護支援事業所サニースポーツ小名浜内郷事業所運営規定の変更について
--	--	--

IV 役員の研修

令和6年度の役員研修につきましては、福島県社会福祉協議会主催の社会福祉法人監事研修を木幡監事に受講していただきました。

V 各事業別報告

特別養護老人ホームサニースポーツ小名浜

令和6年の稼働率は目標稼働率97.8%に対して95.0%でした。令和6年下期におきましては月平均約2.8名の死亡退去や長期入院による退去が発生し、稼働率が大きく低下しました。稼働率の向上に関しては、今後も退去から入居までの日数を縮めるというところに注力していきたいと考えます。

入居者様の処遇面におきましては「その人らしさを守ること」という法人理念に基づき、認知症の方への対応を厚くするために職員の外部研修や内部研修を幅広く行いました。特に認知症チームケア推進加算の算定は他の法人よりも早く対応することができ、令和6年度中にチームの編成及び計画書の作成を行うことができました。

看取り対応に関しては、現在、施設での看取りが非常に多く、多くの職員が戸惑いながらも看取りを経験することが自分の介護職としての糧となり、今後の看取り時の対応向上へ繋がっているのではないかと考えます。

今後はこの経験を活かし、サニースポーツ小名浜の看取りのあり方を職員とともに考えることで、利用者様とご家族がより安心して最後の時を迎えられる体制を整えていきたいと思えます。

また入居者様の生活面におきましては、調理レクリエーションやユニット内における少人数単位での行事等を行いました。面会に関しては、感染状況が落ち着いている時にはロビー内のくつろいだ環境で面会をしたり、天候のいい日にはご家族と一緒に施設駐車場の散歩を行っていただくなど、感染状況に応じた面会やレクリエーションのあり方について検討をする一年となりました。今後はさらに集団での外出や外食等のレクリエーション、施設全体での行事を安全に適切に行うためにはどのようにすれば良いのかを考えて参ります。

令和6年度特別養護老人ホーム稼働率推移（％）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期平均	
96.0	97.0	95.5	95.7	98.1	98.3	96.8	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期平均	年間平均
94.5	96.4	94.9	94.4	91.6	87.4	93.2	95.0

令和 6 年度特別養護老人ホーム入居者数実績（人）

上期	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
要介護 1						
要介護 2	1	1	1	1	1	1
要介護 3	11	11	11	12	12	12
要介護 4	38	38	36	37	36	36
要介護 5	33	33	33	33	34	31
在籍計	83	83	81	83	83	80
入院：延日数	38	61	106	52	67	30
外泊：延日数	0	1	1	0	1	0

下期	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均／月
要介護 1							0	0
要介護 2	1	1	1	1	1	1	12	1.00
要介護 3	12	12	12	13	10	10	138	11.50
要介護 4	37	38	39	37	39	37	448	37.33
要介護 5	32	32	33	30	31	33	388	32.33
在籍計	82	83	85	81	81	81	986	82.17
入院：延日数	53	42	31	62	70	149	761	63.42
外泊：延日数	1	0	0	3	0	0	7	1.40

令和 7 年 3 月 3 1 日現在入居者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要介護 1	0	0	0
要介護 2	0	1	1
要介護 3	7	3	10
要介護 4	7	30	37
要介護 5	10	20	30
合計	24	54	78

令和 7 年 3 月 3 1 日現在入居者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要介護 1	-	-	-
要介護 2	-	90.00	90.00

要介護 3	77. 00	90. 00	83. 50
要介護 4	80. 29	87. 47	83. 88
要介護 5	84. 30	86. 00	85. 15
平均	80. 53	88. 37	85. 63

令和 7 年 3 月 3 1 日現在入居者介護度別市町村状況（人）

市町村名	いわき市		富岡町		双葉町		喜多方市		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護 3	6	3	0	0	0	0	1	0	7	3
要介護 4	6	29	1	0	0	1	0	0	7	30
要介護 5	10	20	0	0	0	0	0	0	10	20
小計	22	53	1	0	0	1	1	0	24	54
合計	75		1		1		1		78	

短期入所生活介護事業所サニーポート小名浜

短期入所生活介護サニーポート小名浜は目標稼働率75％に対して令和6年度は70.07％でした。7月から9月にかけて稼働率が好調な時期がありましたが、下期は特養へ入居となった方が多く、その後のリカバリーができずに稼働率が低下し、実績が伸び悩みました。

ショートステイとデイサービスの一体的なサービス利用につきましては、複数名については相互利用の実施することができておりますが、未だデイサービスが終了してから、ショートステイに移行するという方が多く見受けられます。1日でも長く元気に在宅生活を送っていただくために、さらなる利便性を追求し、利用の促進に繋げたいと考えます。

昨年度目標に掲げたショートステイでの看取り対応につきましては、残念ながら実施することができませんでした。在宅における看取りの最後の場所を施設に移行するということに対する在宅医療との連携、また地域医療機関との連携に改善の余地があるのではないかと考え、引き続き努力していきたいと思っております。

しかしながらこの一年はこれまで感染症対策で行えなかったカラオケやドライブ、その他集団でのレクリエーション等、特別養護老人ホームとは違ったレクリエーションの内容を数多く実施することができ、利用者様への楽しみの創出ができたことに喜びを感じております。今後は在宅利用者様だからこそできるレクリエーションやサービス内容について更なる充実を目指していきたいと考えます。

令和 6 年度短期入所生活介護事業所稼働率推移(%)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上期平均	
60.83	66.94	62.17	85.32	78.71	77.00	71.83	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下期平均	年間平均
60.32	72.50	64.03	68.39	80.89	63.71	68.31	70.07

令和 6 年度短期入所生活介護事業所利用者数実績（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要支援 1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
要支援 2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護 1	4	5	6	8	9	10	7	9	10	8	6	4	86
要介護 2	11	10	6	12	12	12	13	14	16	14	16	15	151
要介護 3	9	9	12	14	13	12	10	13	15	11	9	12	139
要介護 4	6	7	10	9	9	7	9	6	8	5	7	5	88
要介護 5	2	2	2	2	2	4	4	5	4	3	4	2	36
合 計	33	34	36	46	45	46	43	48	53	41	42	38	505

令和 7 年 3 月 3 1 日現在利用者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	2	2
要介護 1	5	13	18
要介護 2	14	20	34
要介護 3	9	26	35
要介護 4	7	12	19
要介護 5	2	3	5
合計	37	76	113

令和 7 年 3 月 3 1 日現在利用者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要支援 1	0	0	0
要支援 2	0	87.50	87.50
要介護 1	81.20	89.61	85.41
要介護 2	84.21	87.95	86.08
要介護 3	85.66	87.53	86.60
要介護 4	84.85	89.41	87.13

要介護 5	87.50	91.00	89.25
平均	84.68	88.83	86.76

通所介護事業所サニースポート小名浜

令和 6 年度は目標稼働率 65%に対して 50.71%でした。特に年度途中での稼働率の停滞が著しく、常に 50%は稼働しても、55%にはなかなか達することができませんでした。ショートステイとのケアの統一を目標に掲げ、各種の業務改善をして、より重度の利用者様への対応を行うこととした結果、聴覚障害者の方や胃瘻の方を含め、今までにない医療重度の利用者様の対応ができてきております。今後も様々な利用者様に対応できるように、また多様な介護を必要とする方にも対応できるようにして、ショートステイと一体的な運営ができるように日々の業務を行ってまいります。

また地域にの方々との交流につきましては、感染症対策を鑑み未だ実施することができておらず、今後の課題となっております。

新しい取り組みとして、令和 6 年 10 月より鍼灸マッサージ師を採用し、利用者様のリハビリテーションをより活動的に行えるようコンディショニングを目的としたマッサージを行っております。今後もサニースポート小名浜の窓口としてのデイサービスを地域に意識していただけるよう努力していきます。

令和 6 年度通所介護事業所稼働率推移 (%)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上期平均	
51.92	52.96	50.27	52.72	49.63	49.60	50.18	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下期平均	年間平均
50.00	51.67	52.56	47.65	51.94	53.59	51.24	50.71

令和 6 年度通所介護事業所利用者数実績

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
要支援1	4	13	3	12	3	10	3	10	4	14	5	18
要支援2	2	14	2	11	2	12	3	21	3	19	2	13
要介護1	12	85	14	114	14	112	15	116	12	93	12	89
要介護2	12	120	10	97	11	100	14	121	15	114	17	113
要介護3	8	86	9	107	8	84	8	97	8	93	8	77
要介護4	8	74	8	79	5	42	6	46	5	51	5	41
要介護5	2	13	2	9	3	17	2	16	2	18	2	21
合計	18	30	18	30	15	31	18	33	17	32	17	35

	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	延人数
要支援1	4	17	4	16	4	17	4	15	3	12	2	7	161
要支援2	2	12	1	7	1	8	2	13	2	12	2	12	154
要介護1	11	92	11	76	9	73	7	70	8	70	9	90	1080
要介護2	17	149	18	145	19	149	19	148	19	142	19	157	1555
要介護3	7	84	7	96	8	111	7	100	9	106	9	124	1165
要介護4	4	39	4	42	4	40	4	32	4	20	3	18	524
要介護5	2	12	3	21	3	12	2	8	2	12	2	10	169
合計	15	32	18	30	16	32	14	31	15	32	13	33	4493

令和7年3月31日現在利用者介護度別状況（人）

性別	男性	女性	合計
要支援1	1	2	3
要支援2	0	2	2
要介護1	5	7	12
要介護2	10	15	25
要介護3	3	9	12
要介護4	5	5	10
要介護5	1	1	2
合計	25	41	66

令和7年3月31日現在利用者介護度別平均年齢状況（歳）

性別	男性	女性	平均
要支援1	65.00	84.00	77.70
要支援2		90.00	90.00
要介護1	85.40	84.10	84.70
要介護2	85.50	89.30	87.80
要介護3	70.70	86.70	82.70
要介護4	82.60	84.20	83.40
要介護5	85.00	72.00	78.50
平均	82.30	86.60	85.00

居宅介護支援事業所サニーポート小名浜

令和 6 年度におきましては目標 5 人体制で月平均 160 人のところ、月平均で 138.3 人の給付管理を行いました。これはケアマネージャー1 人当たりの受け持ち件数が令和 5 年度 30.2 人に対して、令和 6 年度では 27.6 人となり、1 人当たりの件数は減りましたがケアマネージャーが 5 名体制（令和 7 年度は 1 名退職の為、4 名体制）となったことが一番の要因です。

また昨年からはじめた「よろず相談ら・し・さ」における介護相談会の実施や認知症カフェを通じた地域との関わりを持つことができました。また聴覚障害を持つ要介護高齢者のケアプラン作成を通じて、多様な障害を持つ利用者様への対応の難しさも経験しました。今後はより地域に根ざした事業所となって、困りごとがある時には、まずはサニーポート小名浜に相談しに行こうと思っていただけるような事業所になれるよう頑張っていきたいと考えます。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
給付管理利用者数	103	97	94	103	100	102
予防給付管理利用者数	32	33	34	38	38	38
合計	135	130	128	141	138	140
契約者数	135	136	139	143	136	147

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
給付管理利用者数	101	104	101	104	105	107	1,221
予防給付管理利用者数	38	36	38	39	39	36	439
合計	139	140	139	143	144	143	1,660
契約者数	149	151	152	151	151	152	1,742

居宅介護支援事業所サニーポート小名浜内郷事業所

令和 6 年度におきましては目標 3 人体制で月平均 110 人のところ、月平均 97.08 人の給付管理を行いました。これは令和 6 年 5 月からケアマネージャーが 2 人体制となったことが原因であります。しかしながら昨年度に引き続き、地域高齢者問題に関するどのようなケースに対しても「断らない」「丁寧に」を目標に事業を行い、特に困難事例の対応におきましては、主任ケアマネ 2 名という体制の中でできるだけ多くの利用者の対応をするということに気を配り行いました。

今後は社会福祉法人容雅会、またサニーポート小名浜が内郷・平地域におきましてはまだまだ知名度が低い状態ですので、内郷事業所での活動を拠点に着実に知名度を広げていきたいと考えております。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
給付管理利用者数	80	79	65	72	76	72
予防給付管理利用者数	26	28	26	22	21	21
合計	106	107	91	94	97	93
契約者数	110	111	96	99	94	95

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
給付管理利用者数	76	77	76	76	75	73	897
予防給付管理利用者数	22	20	20	20	21	21	268
合計	98	97	96	96	96	94	1,165
契約者数	98	97	96	96	97	97	1,186

公益的な取り組みについて

令和 6 年度におきましては新型コロナウイルス感染症による中断を余儀なくされていた認知症カフェの再開や地域のシルバーリハビリ体操へ会議室の貸し出し、また広報活動を兼ねた地域の介護相談や福祉・手話の啓発事業として「よろず相談ら・し・さ」を偶数月にイオンモール小名浜にて行っております。また聴覚障害者の方の介護保険の利用促進や聴覚障害者や健聴者との交流を目的に行っている聴覚障害者サロン事業「サポカフェ小名浜 33」等の事業通じ、地域の問題等に積極的に関わらせていただきました。特に聴覚障害者のサロンに関しましては、地域の手話サークル等聴覚障害関連団体の協力も得ながら実施することができました。令和 6 年度は実施することができなかった介護職員初任者研修は次年度に向けて対象者の拡大なども含めて検討課題となっております。今後も職員の育成の窓口として、また地域の多様な介護の窓口としてのサニーポート小名浜を目指して公益的な取り組みを行いたいと考えております。

保育事業

開設4年目となる令和6年の職員体制としては、保育士9名・保育補助2名・看護師3名の14名体制（令和7年3月31日）で運営を行いました。

処遇面では月齢別の園児数を鑑みて、従来の月齢を超えた縦割りの保育ではなく、より協調性や遊びを通じて自立性を育むことができるように、月齢別のクラス分けによる保育を実施しました。また担任制を導入することにより、クラス毎に担任それぞれが行事を工夫することが増え、保育士の自主性が高まるという効果もありました。

保育士の資質の向上と致しましては、事業場内での研修会の他、個別の事例検討を行い、園児 1 人 1 人に寄り添った保育を目指し、研鑽に励みました。

今後の課題としましては、今後ますます需要が高まるであろう病児保育の推進に伴う保護者への感染症に対する啓発や保護者との関わり方などが上げられます。

VI 職員の推移（別紙添付資料参照）

令和6年度における入退職の状況としましては、採用者数27名（正職員9名、パート18名）退職者数33名（正職員14名、パート19名）となり、総数で6名の減となりました。これは令和5年度における技能実習生と特定技能職員の導入時期が入国の都合上遅れたため、補充分として6名の採用過多となり、令和6年度は戦略的に人員の補充をしなかった結果として退職過多となりました。

入職者の職種は、居宅介護支援事業所の機能強化として2名の介護支援専門員の採用（年度末において1名退職）、施設サービスの強化と障害者雇用の促進として鍼灸マッサージ師の採用を行いました。

採用ルートにつきましては、自主応募・ハローワークが12名、業者紹介12名、職員紹介3名となっており、兼ねてからの懸案事項であった紹介手数料については令和4年度12名、約590万円、令和5年度10名、約400万円から令和6年度12名、約340万円へとこれまでより紹介人数が増えたものの勤務形態や職種が違ったことにより金額が減少いたしました。

退職者の状況としましては、正職員では介護職員5名、介護支援専門員4名、看護師2名と退職が続いております。パート職員では介護職員9名、用務・運転7名、保育士1名の退職となり、全体の40%ほどを介護職員が占めております。

在職期間におきましては、2年未満が約60%を占めておりますが、8年以上での退職者は全体の12.3%に止まりました。

また外国人材の登用としまして、前年度入職の技能実習生3名・特定技能職員3名に加えて令和6年度は技能実習生2名を新たに迎え入れました。現在は特別養護老人ホーム4ユニットにそれぞれ2名ずつ配置の上、勤務に就いており、利用者様からも高い評価を頂いております。

今後も、全国的な介護職員及び専門職員の人材不足に対して、生産性の向上と適切な外国人材の登用を行い、適切な人材マネジメントを目指します。